

中郷地域防災訓練（300名）が参加

11月13日（日）午前8時に各集会所に集合し開催場所の中郷公民館へそれぞれ集まっていただきました。11月とは思えない絶好の日和に主催者、関係者一同安堵、地域の住民の皆さん総勢200名と消防関係者、地域振興局関係者等で300名が一同に介し、開会式では、奥野振興局長さんの挨拶で東南海地震に備えて今日の訓練を今後の生活の中で役立てて欲しいとのお話がありました。9時20分から訓練に入り3班に分かれて行動「初期消火訓練・濃煙体験訓練」「消火栓取扱訓練」「応急処置訓練」を体験しました。濃煙訓練ではテントの中に煙が充満し、わずか5メートルの所が前に進むのが困難な状況でした。消火栓放水では水の圧力にホースの筒先をしっかり保持しないといけないことを実感しました。



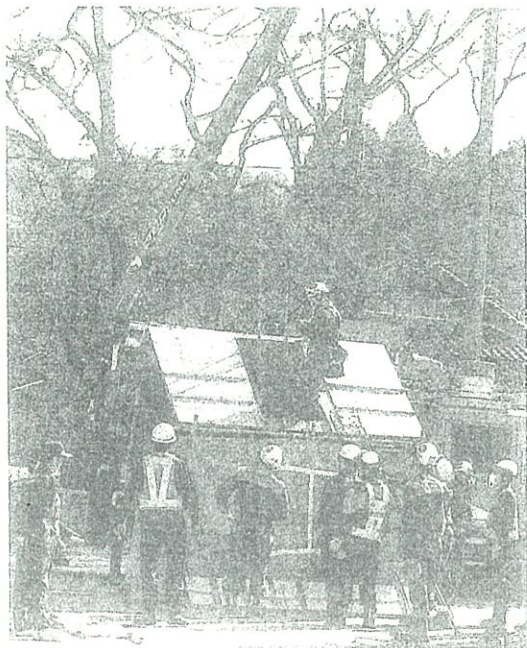
応急処置では、物干し竿に毛布を丸めて簡易タンカー作り及び怪我人等の運搬作業を実体験しました。常日頃から災害時に備えた準備等の大切さを教えてもらいました。

多くの参加者の方々も実際に体験し非常時に備える重要性を十分に認識していただけたのではないのでしょうか。

気温が20度を超える天候に休憩時にはお茶が飛ぶように飲まれる状況下、参加されました皆様にご意見を聞くことができました。災害は忘れた頃にとの昔からの言い伝えで、いざと言う時の対応の仕方を少しでも勉強出来れば良いと思い参加しましたとのお話を伺い、心強く感じました。

休憩後は、第二部の訓練で「倒壊家屋救出・搬送・応急措置訓練」「消防団の一斉放水訓練」を見学しました。当地域では、津波等の被害は皆無だと思われませんが、家屋は昭和56年以前の建築物が多く地震での倒壊被害は甚大な物があると思われま

す。家具等の固定や建築物の強化等で少しでも被害を少なくする減災が必要になってきます。



身近に起こりうる事例に訓練の様子を見守る地域の方々の真剣な眼差しが印象的でした。訓練は、予定より30分位早く終了しました。閉会式では、松阪北消防署の署長

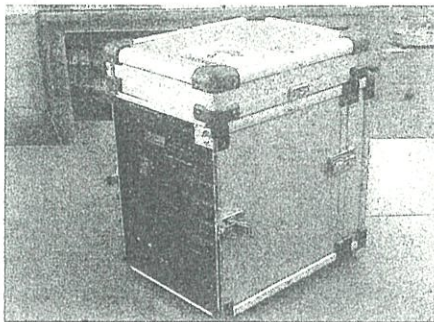
さんが講評「地域の方々が熱心に訓練に取り組み無事終了」することが出来ましたとの謝辞がありました。

終了後は、配食の皆さんや関係者の奥様方の手作りカラーライスに舌鼓、300人分のカラーは絶品でお替わりする人も見受けられました。

今回の中郷地域防災訓練に併せて、昨年度まちづくり協議会会長の多賀一忠氏が入念な準備等をし、松阪市のコミュニティ助成事業の活用を推進、今年度に多くの設備品が充足されることになりました。一般備品では「放送機材：ポータブルアンプ・スピーカ・ワイヤレスマイク」防災関係備品では「発電機・投光機・アルミリヤカー・竈セット・ハンドマイク・コードリール」等の備品を購入していただきました。

放送機材は、地域行事でフルに活用、防災備品等につきましても使わなくて済むのが最善ですが、今後の各自治会での避難訓練等にも活用いただければ幸いです。

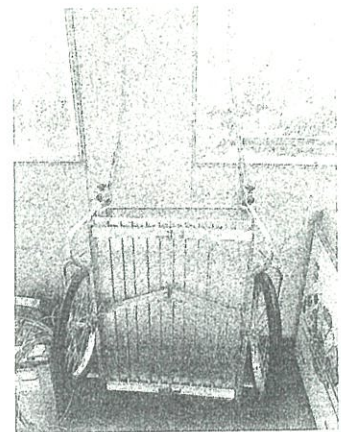
購入いただいた物品等の写真掲載



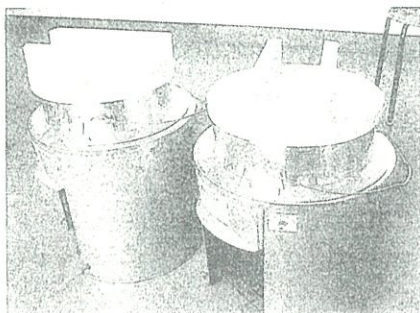
ポータブルアンプ



スピーカー



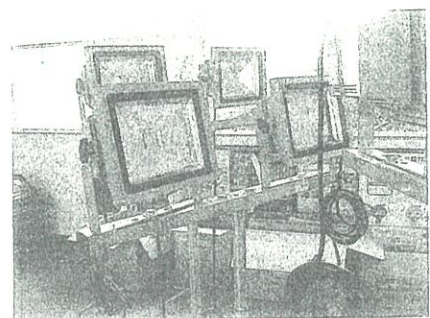
アルミリヤカー



羽釜セット



発電機



投光機